

2024年度 事業報告書

特定非営利活動法人 生涯学習サポート兵庫

1.事業の成果

別紙参照

2.事業実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象の範囲 及び人数	支出額 (千円)
青少年の体験活動の推進及び健全育成に関する事業	無人島学校	通年	主に 兵庫県内	100名	子ども 一般成人 延1,300名	24,850
	カラフルプロジェクト					
	アウトドアクラブhako					
	逃走隊プロジェクト					
	シーズンキャンプ					
	夢ふれあい交流事業					
	ひとやすみinひめじ					
青少年の居場所づくり事業	生活困窮世帯の子どもを地域で支援事業	通年	主に兵庫県内	40名	子ども 延4,000名	17,740
	姫路市生活困窮世帯の中学生等を対象とした学習支援業務		姫路市内			
生涯学習施設の運営管理に関する事業	神戸三田アウトドアビレッジ運営事業	通年	神戸三田 アウトドアビレッジ	40名	子ども一般成人 延12000名 各種団体等 延60団体	55,498
子育てをしている人及び子育ての支援に関わる人や団体等を支援する事業	いっぱいぽ	通年	主に兵庫県内	30名	子ども一般成人 延400名 各種団体等 延20団体	1,978
	子育て支援団体ネットワーク					
	ひょうごこども応援ファンド					
生涯学習の普及啓発に関する事業	とにかく楽しい講師団事業	通年	主に 兵庫県内	25名	各種団体等 延200団体	9,555
児童福祉法に基づく障がい児童通所支援事業及び、障がい児相談支援事業	放課後等デイサービス事業	通年	主に 姫路市内	8名	子ども 延2,400名	16,972
中間支援に関する事業	NPO広報支援事業	通年	生涯学習サポート 兵庫事務局	5名	各種団体 延20団体	275
	オトナチカラプロジェクト					
その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	その他団体中間支援事業など	通年	生涯学習サポート 兵庫事務局	5名	各種団体 延30団体	0

2024年度 事業報告

NPO法人 生涯学習サポート兵庫

●青少年の体験活動の推進及び健全育成に関する事業

無人島学校

	普段の生活では起こらない困難に子どもたち自身が向き合い、考え、行動し、ふりかえりを重ねる中で、自分の役割に気づき、仲間との関係から「居場所」を感じていく。過酷な環境への適応力を養い、得たスキルを日常生活で活かすことを目的とする。また、保護者とも共通理解を図り、家庭での子どものフォローや親子関係の構築にもつなげている。	
	開催	■第18回無人島学校 一週間自給自足生活挑戦 ■親子コース ■3DAYSコース ■大人コース
	実施場所	・事前セミナー:オンライン・無人島学校:松島・事前事後コーチング:オンライン
	参加人数	一週間コース:24人 / 親子コース:10組(20人) / 3DAYSコース:19人 / 大人コース:11人
	特徴と効果	一週間コースには昨年度から、高校生ボランティアがグループリーダーの役割で参加した。コーチもコーチングセミナーを受講した3名が参加し、事前・本番・事後とコーチングを実施。親子コースの人气が高く、20組の定員に達したが、台風で延期となり参加者は半分の10組にとどまった。新しい試みとして『30代40代のための「キャリアとむきあう」無人島学校』というテーマで「大人コース」を実施。これまでの人生を非日常の環境の中でふりかえり、理想の働き方や生き方について考え「自分に向き合う」時間を過ごした。

●青少年の体験活動の推進及び健全育成に関する事業

カラフルプロジェクト

	播磨地域の発達障がいのある子どもたちが、多くの大人との関わりや自然・社会体験を通じて「ふるさと感」を育むことを目的に実施（ひょうごっ子・ふるさと塾助成金事業）。対象は小学生～高校生と幅広く、長期的な継続参加が可能。日帰りに加え、次のステップとして宿泊キャンプも取り入れ、さらなる学びへとつなげている。	
	開催日	■日帰り全6回:6/2・7/27・8/4・10/6・12/8・2/9 ■宿泊全2回:11/9-10・3/8-9
	実施場所	■6/2・7/27・8/4:うみくる ■10/6:御旅山 ■12/8・2/9:灘市民センター(宇佐崎公園) ■11/9-10・3/8-9カラフルおとまりキャンプ:加古川市立少年自然の家
	参加人数	日帰り75人、おとまりキャンプ31人
	特徴と効果	2年目となる日帰り活動は、キャンセル待ちになる活動が多い。日帰りやお泊まりの活動に継続して参加することで、子どもたちは活動の場やスタッフに慣れ、それぞれの個性をのびのびと発揮できるようになった。集団の中に入って少しずつ長い時間活動に参加できるようになったり、公共交通機関での移動が難しい子が以前よりもスムーズに乗って移動できるようになったりと、継続参加だからこそ感じられる成長がみられた。秋と春のおとまりキャンプでは、活動時間の長いプログラムにもチャレンジした。

●青少年の体験活動の推進及び健全育成に関する事業

アウトドアクラブ hako

	「あそびのなかからまなぶ」をテーマに、月1回のペースで実施。「りとり(感性・個性をのぼす)」「ぶらす(グループでのコミュニケーション)」「チャレンジ(失敗を恐れず挑戦)」の3コースに分かれ、季節を感じるプログラムを展開。子どもたちには外で思いきりあそびながら学ぶ時間を、保護者にはリフレッシュの時間を届けている。	
	開催日	■りとり29回 ■ぶらす29回 ■チャレンジ6回(内1回は宿泊キャンプ) ■宿泊キャンプ1回
	実施場所	・明石公園・明石市立少年自然の家・白浜海水浴場・ハチ高原・兎和野高原野外教育センター他
	参加人数	hakoメンバー195名 単発参加者 27名
	特徴と効果	メンバーが増え、「ぶらす」コースは定員いっぱいとなり、体験・単発参加は受付できない状態に。前年度に導入したコース登録制度も定着し、固定メンバーでの活動が増えたことで子ども同士のコミュニケーションがより深まった。チャレンジコースでは今年度も最後に1泊2日のチャレンジキャンプを実施し、高学年ならではの挑戦要素を盛り込んだプログラムを行った。また、保護者との連絡手段として公式LINEの活用も定着し、緊急連絡だけでなく日常の質問や会話も気軽にできるようになり、保護者との距離が近くなった。

●青少年の体験活動の推進及び健全育成に関する事業

逃走隊プロジェクト

	年齢縦割りのグループでハンターから逃げながらミッションに挑戦するプログラム。ミッションを通じて、メンバーが「グループのことを考えた行動」を意識するようになり、「同じ目標に向かうチーム」へと変化していくことをねらいとしている。初参加でも取り組みやすく、他のキャンプへの入口にもなっており、リピーター率も高い。	
	開催日	■春シーズン2回 ■秋シーズン2回 ■冬シーズン2回 ■委託1回
	実施場所	・明石公園
	参加人数	各回30～40人
	特徴と効果	企画チームボランティアリーダーが現在は講師として主体的に活動。リーダー同士が意見やアドバイスを交換しながら、共に逃走隊を盛り上げている。毎回変わるストーリーやミッションは楽しさと学びを取り入れ、回を重ねるごとに良いプログラムとなるよう企画している。参加者からの人気も高く、キャンセル待ちになることが多い。

●青少年の体験活動の推進及び健全育成に関する事業

シーズンキャンプ 春

	四季を感じながら子どもたちの「やりたい」を最大限に引き出し、様々な体験プログラムを実施。カヌー・カヤック体験、アウトドアクッキング、秘密基地づくり、思い出工作等	
	開催日	■3/28-29 ひとりではできるもん！おかいものマスター編 ■3/31-4/2 いえしまチャレンジキャンプ
	実施場所	・兵庫県立いえしま自然体験センター・加古川市立少年自然の家
	参加人数	■3/28-29 19人 ■3/31-4/2 15人
	特徴と効果	昨年度に引き続き、連泊のキャンプよりも日帰りや1泊のプログラムに応募が集中している。春のプログラムのニーズを改めて考え直すきっかけになった。

●青少年の体験活動の推進及び健全育成に関する事業

シーズンキャンプ 夏

	四季を感じながら子どもたちの「やりたい」を最大限に引き出し、様々な体験プログラムを実施。海あそび、カヌー、釣り、いかだづくり、クッキング、キャンプファイヤー、川あそび、ツリーイング、マウンテンバイク、思い出工作など	
	開催日	■7/29-7/31 秘密基地キャンプ ■8/3 ひとりではできるもん！だいいっぱい ■8/5-8/7 トレジャーハンター ■8/7-8/10 いえしまチャレンジキャンプ ■8/13-8/14 いえしま海をまんきつキャンプ ■8/15-16 ひとりではできるもん！おとまりマスター編 ■8/17-18 親子のわくどき★キャンプ ■8/19-21 学校に泊まろうキャンプ ■8/22-23 はじめてのおとまりキッズ★キャンプ ■8/25 夏のいえしまマリンツアー
	実施場所	・兵庫県立いえしま自然体験センター・白浜海水浴場・たかのす東小学校・リゾートロッジ山水館
	参加人数	■7/29-7/31 26人 ■8/3 23人 ■8/5-8/7 30人 ■8/7-8/10 26人 ■8/13-8/14 33人 ■8/15-16 25人 ■8/17-18 12組 ■8/19-21 30人 ■8/22-23 31人 ■8/25 30人
	特徴と効果	全プログラムで定員が埋まり、台風の影響もなく全日程を実施。特に海のキャンプが人気。リピーターも多い。

●青少年の体験活動の推進及び健全育成に関する事業

シーズンキャンプ 冬

	四季を感じながら子どもたちの「やりたい」を最大限に引き出し、様々な体験プログラムを実施。雪あそび、スキーなど	
	開催日	■12/25-26 ひとりではできるもん！クリスマス編 ■12/28-30スキーまんきつキャンプ ■1/4-1/6 冬の大冒険キャンプ
	実施場所	・ハチ高原 リゾートロッジ山水館・兵庫県立兎和野高原野外教育センター・加古川市立少年自然の家
	参加人数	■12/25-26 15人 ■12/28-30 34人 ■1/4-1/6 14人
	特徴と効果	スキーキャンプはリピーターが多く、参加者のスキーレベルに合わせて内容を拡充。雪あそびやスキーを存分に楽しむ充実したプログラムとなった。

●青少年の体験活動の推進及び健全育成に関する事業

ひとやすみinひめじ

	学校に行きづらさを感じている小学生を対象に、体験活動を通じた居場所づくりを開始。	
	開催日	2024年6月～12月 月1回 2025年1～3月 月2回
	実施場所	・太子遊びと冒険の森ASOBO・YAHOH!・白浜海水浴場・姫路水族館など
	参加人数	延べ60名
	特徴と効果	今年度から始まった、小学生を対象とした体験活動中心の居場所づくり。キャンプの過去参加者や、学校配布のチラシをきっかけに参加した子どもが多い。少人数で安心できる環境の中、家から出られなかった子が一歩を踏み出し、フリースクールや学校への復帰につながった例も。体験活動を通じて、学習への拒否反応がある子どもにも自然にアプローチ。スタッフの丁寧な関わりが、子どもたちの「次への一歩」を後押ししている。

●青少年の体験活動の推進及び健全育成に関する事業

児童養護施設の子どもたちの夢ふれあい交流事業

	児童養護施設の子どもたちは、様々な事情により施設退所後に就職を選択せざるを得ず、大学進学率が低い状況にあります。将来の進路選択の幅を広げるため、大学生のモデルを知る機会として、日常生活を離れ、自然体験活動を通じて、大学生と児童養護施設の子どもたちの交流できる事業を兵庫県からの委託。	
	開催日	①8/26-28 夏のいえしまキャンプ→台風のため延期（8/16 大学生研修・オリエンテーションのみ実施） ②10/12ふりかえりDAYキャンプ（9/29 大学生研修・オリエンテーション）
	実施場所	①兵庫県立いえしま自然体験センター（研修・オリエンテーション 灘市民センター）②神戸三田アウトドアビレッジ TEMIL
	参加人数	①②ともに参加者10名 大学生7名
	特徴と効果	大学生と児童養護施設の子どもたちの交流を目的としたキャンプ事業は今年度で2年目。8月のキャンプは台風で中止となり、10月12～14の1回のみ実施。アイスブレイクを通じて徐々に打ち解けた。キャンプではチームでサイクリングに挑戦し、楽しいだけでなく失敗や協力の大切さなど様々な感情を共有。終了後には「学校に行けるようになった」「積極的になった」といった嬉しい声が施設から届いた。

●青少年の居場所づくり事業

生活困窮世帯の子どもを地域で支援事業 兵庫県

	生活困窮世帯等の子どもの学習支援を通して学習や生活習慣の獲得の支援、及び子どもが安心できる居場所づくり	
	開催日	週1回
	実施場所	兵庫県内(12町):猪名川町、稲美町、播磨町、福崎町、神河町、太子町、香美町、新温泉町 ※多可町、上郡町、市川町、佐用町(未実施)
	参加人数	延べ1230人
	特徴と効果	各町とも熱心なコーディネーターとボランティアの助けもあり、それぞれの居場所づくりができていると思われ、特に調理実習は各町とも子どもたちにとっても人気がある。加えて、夏には読書応援企画、また独自の取り組みである「きつずべーすとらい」を一部地域で導入し、学習に対する自信をつけられるような仕組みにしている。また、一部地域では合同デイキャンプを開催し、他町の子どもたちの交流を図った。保護者向けのアンケートからも毎週のスクールを楽しみにしていると多くの声が寄せられた。

●青少年の居場所づくり事業

姫路市生活困窮世帯の中学生等を対象とした学習支援業務

	生活困窮世帯の中学生等を対象に基礎学力の向上並びに高等学校等への進学に向けた学習支援、居場所づくり支援及び自己肯定感を高める各事業を総合的に実施	
	開催日	毎週土曜、日曜(長期休暇中および1~2月は平日開催もあり)
	実施場所	・姫路市役所周辺会場・姫路城周辺会場
	参加人数	延べ2760人
	特徴と効果	本年度より委託を受け、居場所づくりに加えて学力・進学率の向上に重点を置いた事業を実施。スーパーバイザーにNPO法人ブレンヒューマンティを迎え、大学生チューターのサポートにより3年生全員が志望校に進学。いえしまキャンプや大学訪問など年5回の体験活動も行い、生徒・保護者から「普段できない体験ができて嬉しい」と多くの声が寄せられた。

●生涯学習施設の運営管理に関する事業

キッズのための週末プログラム MIKKE

	SHOSAPOの「あそび」とTEMILの「自然」が奏でる、月に一度のスペシャルDAY！子どもたちが夢中になってチャレンジできる、がむしゃらにあそぶ1日をお届けします！ママやパパにも月に一度のリフレッシュDAYを！	
	開催日	年間10回開催
	実施場所	・神戸三田アウトドアビレッジTEMIL
	参加人数	のべ70名
	特徴と効果	染め物や芋掘り体験、川あそびなど、自然を存分に満喫し楽しむ週末プログラムとなった。参加者の年齢幅も広く、年上の参加者が幼児の参加者を自然とサポートする姿も見られた。

●生涯学習施設の運営管理に関する事業

森のお泊まり学童

	ひとり親家庭の長期休み中の子どもの預け先問題を支援。「預ける」=申し訳ないではなく、「ありがとう」に変えていく。メリハリのある「まなぶ」と「あそぶ」を両立し、基本的な生活習慣を身につけながら自然体験も大切にしている。	
	開催日	(夏)7/30-8/3、8/20-24(冬)12/26-29、1/4-7(春)3/25-29 (週末)12/21-22、2/22-4
	実施場所	・神戸三田アウトドアビレッジTEMIL
	参加人数	のべ222名
	特徴と効果	「まなび」と「あそび」を融合した人気プログラム。毎年参加する子どもたちが声を掛け合い、考え学び合う姿が印象的。今年度は「夏まつり」や「チャレンジ100」など、自分たちで企画・実施するプログラムを多く実施。高校生ボランティアも活躍し、中学生から「憧れの存在」となっている。

●生涯学習施設の運営管理に関する事業

シーズンキャンプinさんだ

	子どもたちの「やってみたい」を様々なテーマのチャレンジで実践する自然体験プログラム。「アウトドアマスターキャンプ」「ナツスタキャンプ」「週末イベント(越冬昆虫観察会、投火採集)」他	
	開催日	■9/15-16:アウトドアマスターキャンプ(夏)■1/12-13:アウトドアマスターキャンプ(冬)■8/4-26:ナツスタ★キャンプ■9/7 投火採集 ■12/12/8-9:集まれ！昆虫好き！越冬昆虫観察会 ■11/30,12/28,3/20:親と子OUTDOORSCHOOL
	実施場所	・神戸三田アウトドアビレッジTEMIL
	参加人数	■9/16-16 11名 ■1/12-13 10名 ■8/4-6 8名 ■9/7 親子20組 ■12/1 親子12組 ■2/8-9 親子10組 ■親と子のOUTDOORSCHOOL のべ15組
	特徴と効果	アウトドアマスターキャンプではテント設営、火おこし、ロープワークなどに挑戦。リピーターも多く、スキルの定着が見られた。ナツスタキャンプや投火採集、越冬昆虫観察会では講師の技術を活かし、子どもたちが生き生きと活動した。

●生涯学習施設の運営管理に関する事業

さんだ森のおさんぽ会



親子で季節の移り変わりを感じながら、お散歩したり、思いっきりあそんだり、ものづくりに夢中になったり…ゆったりとした気持ちで子どもとの時間を共有する、月1回の親子を対象とした自然体験ワークショップ。	
開催日	年間10回開催
実施場所	・神戸三田アウトドアビレッジTEMIL
参加人数	のべ146組
特徴と効果	親子で過ごす森じかん。流しそうめんやロング巻き寿司、川あそび、秘密基地づくりなど、子どもも大人も夢中になるプログラムを実施。子どもたちは自然の中で安心して挑戦し、大人は成長を見守りながらリフレッシュできる、ボランティアも親子に丁寧に寄り添い、企画から準備・実施まで自主的に関わる場となった。

●生涯学習施設の運営管理に関する事業

ひとやすみinさんだ



五感でかんじる、わたしの居場所「ひとやすみ」。焚き火、クッキング、モルックやクラフト…体験(あそび)の中には、まなびがいっぱい。今日は、ほんと「ひとやすみ」の日。ひょうごボランティア基金助成事業	
開催日	約3回/月 のべ26回 marché see TEMIL:3/27
実施場所	・神戸三田アウトドアビレッジTEMIL
参加人数	ひとやすみ のべ78名 marché see TEMILのべ160名
特徴と効果	野外活動を中心に昼食づくりも行い「できた」を実感できるプログラムを実施。一人ひとりに寄り添い話しやすい雰囲気大切に。継続参加の子どもも増え、畑での活動や農作物を使ったプログラムが特に人気。アンケートでも「学習より野外活動を」との声が多く寄せられた。共感いただいた方々と開催した「marché see TEMIL」では、「TEMIL」や「ひとやすみ」の周知につながり、出店者同士のつながりの場にもなった。

●子育てをしている人及び子育ての支援に関わる人や団体等を支援する事業

0歳からの森あそびいっぱい



未就学親子対象の自然の中でちょっぴり特別な森じかんを過ごす自然体験プログラム。	
開催日	開催数18回
実施場所	・太子遊びと冒険の森ASOBO・白浜海水浴場
参加人数	延べ親子254組
特徴と効果	昨年より「森のようちえん」と「いっぱい」を統合し、「はじめのいっぱいコース」(0～4歳)と「すきっぷコース」(3歳～年長児)として再編。年齢に応じたプログラムにより、子どもたちが無理なく自然の中で活動できるようになった。継続参加する親子も多く、保護者同士のつながりの場にもなっている。安心して野外活動ができる貴重な機会として、自然の中でリフレッシュできる大切な居場所となっている。

●生涯学習の普及啓発に関する事業

SHOSAPO講師団



子育て支援施設や学校、PTA、公的機関、NPO等からの依頼を受け、未就園児親子から高齢者まで幅広い世代に向けた講演や研修、レクリエーション、親子あそび、オンライン企画などを実施。「まなび」が詰まった体験型「あそびプログラム」を通じて、結果だけでなく過程を大切に、誰もが楽しく参加できる工夫を追求している。	
実施場所	兵庫県を主として大阪、京都など近畿圏を中心に、オンラインでは北海道から鹿児島まで全国に渡る
件数	192件
特徴と効果	野外活動やレクリエーションを担う講師の減少により、講師の層の薄さが課題となった1年。久しぶりに開催した講師団研修には新たな講師候補が参加し、「SHOSAPOの想い」を共有。オンラインレクリエーションの依頼は減少傾向にあるが、大型リピーターからの依頼は継続、約200家庭とロング巻きずし作りを実施した。

●児童福祉法に基づく障がい児童通所支援事業及び、障害児相談支援事業

放課後等ディサービス事業 GreenWood



6～18歳の障がい児を対象とした通所支援事業。自立に向けた発達支援として、「あそび」を通じて社会性や協調性を育む療育を実施。自己選択・自己決定を大切に、「安心できる」「自分らしくいられる」居場所づくりを心がけている。	
開催日	通年(日祝、8月13～16日、12月28日～1月3日を除く)、開所245回
実施場所	・放課後等ディサービスGreenWood
参加人数	延べ1,775人
特徴と効果	「おそとであそぼ！」を合言葉に、夢前川河川敷をメインフィールドとして、利用者一人ひとりが安心して過ごせる居場所を提供しています。保護者の皆さまからの信頼を大切に、障がいの有無にかかわらず、自然の中でのびのびとあそべる時間を日常の中に届けている。2月からは開所日を土曜日にも拡充。

●中間支援に関する事業

NPO広報支援事業



一緒に考え、一緒につくる。あそびゴコロを大切に「つくる」楽しさを大切に、そしてその効果と一緒に喜ぶことのできるモノづくりをめざしています。作成物(チラシ、パンフレットなど)	
依頼先	小野市ゴルフ協会、小野市うおい交流館エクラ、神戸市区社協、加西市観光協会、青少年団体連絡協議会、ナック他
件数	13件
特徴と効果	野外活動団体をはじめ、ゴルフ、文化交流施設の催事など多種多様な依頼に対応。昨年度に続きリピーターとなった団体様も増え満足度の高さが次に繋がったものと感じている。